

株式会社LIXILグループ

項目	内容
1.自社の取り組み状況 (1/4)	<p>① 社内における削減量の算定ルール 製品使用段階のCO₂排出削減効果を算定するにあたり、グループ共通の算定ルールとして「LIXILグループ製品使用によるCO₂排出量・削減貢献量算定ガイドライン」を策定しています。</p> <p>② 明文化した目的／拠り所とした基準／拠り所とした理由 自社の製品・サービスによるCO₂排出量及びCO₂削減貢献量の算定方法を明確化することで算定結果の信頼性を確保するためにガイドラインを策定しています。ガイドラインの内容は下記基準を参照しています。また、業界基準があるものはそちらを参照しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・Corporate Value Chain(Scope 3) Accounting and Reporting Standard (The Greenhouse Gas Protocol)・サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン Ver2.2 (環境省、経済産業省)・温室効果ガス排出削減貢献量算定ガイドライン 第1版 (日本LCA学会)

株式会社LIXILグループ

項目	内容
1.自社の取り組み状況 (2/4)	<p>③ 製品・サービスの提供によるGHG排出量の削減に関する定量的な目標（削減量、削減に資する製品・サービスの販売数など） LIXILグループでは、環境ビジョン2030の実現に向けて、グループ全体で製品使用段階のCO₂削減貢献量を2015年度比で1.36倍にする目標を掲げています。</p> <p>④ 削減量把握の範囲 LIXILグループ全体（国内外）を対象としています。</p> <p>⑤ 削減を促進するための社内インセンティブや普及活動</p> <p>● 社内インセンティブ LIXILグループ環境中期目標では、「製品のCO₂削減貢献量の向上」をKPIの一つに掲げ、各事業組織では事業計画と連動した重点KPI・目標を設定することで、事業の利益に貢献する活動として位置付けています。</p>

株式会社LIXILグループ

項目	内容
1.自社の取り組み状況 (3/4)	<p>● 普及活動</p> <p>ステークホルダーとの協働のエコ活動を通じて、環境のために私たち一人ひとりが、いまできることを考えるきっかけづくりとして「みんなでスマイルエコプロジェクト」を展開しています。その活動の一環として、以下の取り組みを実施しています。</p> <p>・「THINK HEAT ～考えようヒトと地球にやさしい温度」</p> <p>熱中症やヒートショックを引き起こす一因である室内温度と、家庭のエネルギー消費の約25%を占める冷暖房効率の重要性について、お客さまとともに考える取り組みです。社員が講師として行う小学生向けの「健康と環境にいい住まい方」の出前授業や、自治体との協働による保育所へのLIXILの外付け日よけの取り付けおよび効果測定、全国のショールームに会場したお客さまへの、「室内温度」を意識するきっかけづくりとするためのオリジナル温度計の配布などを行っています。</p>

株式会社LIXILグループ

項目	内容
1.自社の取り組み状況 (4/4)	<ul style="list-style-type: none">● 社内他部署（製品開発・生産部門など）との連携・商品開発では、独自の環境配慮設計評価を実施し、環境に関わる法令の順守に加え、「つくる」、「つかう」、「もどす」の3つのステージで商品が環境に与える負荷を可能な限り低減する商品開発を進めています。また、高い環境性能を有するエコ商品は、カタログなどで「エコ訴求マーク」を表示し、その特長をお客さまにお伝えしています。

株式会社LIXILグループ

項目	内容
<p>2. 代表的な製品・サービスの算定内容(1/4)</p>	<p>【代表的な製品・サービス名】</p> <p>・浴室水栓「INAX エコフルシャワー+プッシュ水栓」 浴び心地はそのままにシャワーに使用のお湯の量を低減できるシャワーヘッドと、プッシュ操作による吐水・止水が可能な節湯機能を搭載した浴室用水栓金具。</p>   <p>湯を愉しみ、時を味わう、人生を豊かに潤すシステムバスルーム「SPAGE（スパーージュ）」</p> <p>・高断熱窓「TOSTEM SAMOS X」 樹脂窓並みの熱貫流率を実現し、住宅の冷暖房に使用するエネルギーの削減に貢献するアルミ樹脂複合窓。</p>   <ul style="list-style-type: none"> ■ 断熱性向上のポイント ✓ ガラス面積最大化 ✓ ガラス高性能化 ✓ フレーム高性能化

株式会社LIXILグループ

項目	内容
<p>2.代表的な製品・サービスの算定内容(2/4)</p>	<p>① 算定方法</p> <p><算定方法概要></p> <p>省エネ・節水などの環境負荷低減機能により使用時のCO2排出量を削減できる評価対象製品と、ベースライン製品（1990年頃に一般的だった製品をベースライン製品と設定）を比較して削減できるCO2排出量を削減効果として算定しています。</p> <p><削減効果の算定式></p> <p>ベースライン製品使用時の年間のエネルギー消費量および水使用量と、評価対象製品使用時の年間のエネルギー消費量および水使用量の差に、CO2排出係数、算定年度の販売数量、使用年数を乗じて求めます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> $\text{削減効果} = \left(\begin{array}{l} \text{ベースライン製品使用時の} \\ \text{年間エネルギー消費量・水使用量} \end{array} - \begin{array}{l} \text{評価対象製品使用時の} \\ \text{年間エネルギー消費量・水使用量} \end{array} \right) \times \begin{array}{l} \text{CO}_2 \\ \text{排出係数} \end{array} \times \text{販売数量} \times \text{使用年数}$ </div>

株式会社LIXILグループ

項目	内容																					
2.代表的な製品・サービスの算定内容(3/4)	<p>② 算定結果 <代表的な評価対象製品の個別条件と算定効果></p> <p>■浴室水栓「INAX エコフルシャワー+プッシュ水栓」</p> <table border="1" data-bbox="551 568 2094 1295"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="551 568 1093 647">項目</th> <th data-bbox="1093 568 2094 647">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="551 647 1093 719">ベースライン製品</td> <td data-bbox="1093 647 2094 719">シャワーヘッド+プッシュ水栓（最適流量10L/分）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="551 719 1093 828">算定効果</td> <td data-bbox="1093 719 2094 828">ベースライン製品に比べて、評価対象製品が使用時に削減できるエネルギーおよび水</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="551 828 1093 976">算定条件</td> <td data-bbox="1093 828 2094 976">「エネルギーの使用の合理化に関する建築主及び特定建築物の所有者の判断の基準」における給湯量（東京、床面積120m²の住宅）から算出。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="551 976 775 1190" rowspan="2">CO₂排出係数</td> <td data-bbox="775 976 1093 1083">ガス [kg-CO₂/m²]</td> <td data-bbox="1093 976 2094 1083">2.23 引用元：地球温暖化対策の推進に関する法律</td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 1083 1093 1190">水 [kg-CO₂/m²]</td> <td data-bbox="1093 1083 2094 1190">0.54 引用元：（一社）日本レストルーム工業会／水のCO₂換算係数</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="551 1190 1093 1295">算定結果 [kg-CO₂/（セット・年）]</td> <td data-bbox="1093 1190 2094 1295">202</td> </tr> </tbody> </table>		項目		内容	ベースライン製品		シャワーヘッド+プッシュ水栓（最適流量10L/分）	算定効果		ベースライン製品に比べて、評価対象製品が使用時に削減できるエネルギーおよび水	算定条件		「エネルギーの使用の合理化に関する建築主及び特定建築物の所有者の判断の基準」における給湯量（東京、床面積120m ² の住宅）から算出。	CO ₂ 排出係数	ガス [kg-CO ₂ /m ²]	2.23 引用元：地球温暖化対策の推進に関する法律	水 [kg-CO ₂ /m ²]	0.54 引用元：（一社）日本レストルーム工業会／水のCO ₂ 換算係数	算定結果 [kg-CO ₂ /（セット・年）]		202
項目		内容																				
ベースライン製品		シャワーヘッド+プッシュ水栓（最適流量10L/分）																				
算定効果		ベースライン製品に比べて、評価対象製品が使用時に削減できるエネルギーおよび水																				
算定条件		「エネルギーの使用の合理化に関する建築主及び特定建築物の所有者の判断の基準」における給湯量（東京、床面積120m ² の住宅）から算出。																				
CO ₂ 排出係数	ガス [kg-CO ₂ /m ²]	2.23 引用元：地球温暖化対策の推進に関する法律																				
	水 [kg-CO ₂ /m ²]	0.54 引用元：（一社）日本レストルーム工業会／水のCO ₂ 換算係数																				
算定結果 [kg-CO ₂ /（セット・年）]		202																				

株式会社LIXILグループ

項目	内容	
2.代表的な製品・サービスの算定内容(4/4)	■高断熱窓<アルミ樹脂複合窓>「SAMOS X」	
	項目	内容
	ベースライン製品	アルミサッシ+単板ガラス
	算定効果	標準的な住宅に設置したベースライン製品の窓（一棟分）が評価対象製品に置き換わった場合に削減できる暖冷房エネルギー
	算定条件	<p>熱負荷計算プログラム「AE-Sim/Heat」（（株）建築環境ソリューションズ）を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法および解説Ⅱ住宅」（（一財）建築環境・省エネルギー機構）に基づきエネルギー消費量、暖冷房金額に換算。</p> <p>●住宅モデル：2階建て/延べ床面積120.08m²/開口率：26.8%、「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法および解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン ●想定家族：4人家族 ●想定暖冷房機器：エアコン、暖房：20℃/冷房：27℃・60% ●運転方法：間歇運転 ●計算地域：拡張アメダス気象データ2000年版（標準年） ●住宅断熱仕様：平成25年省エネルギー基準適合レベル ●〈一般的な住宅〉アルミPG窓+一般複層ガラス/断熱ドアk4仕様、〈高断熱住宅プラン〉サモスX+トリプルガラス（クリプトンガス入り）Low-Eグリーン/断熱ドアk1.5仕様 ●遮蔽物：居室の8窓にレースカーテン、和室に和障子を併用</p>
	CO ₂ 排出係数	電気 [kg-CO ₂ /kWh] 0.447 引用元：（一社）日本電機工業会ホームページ/CO ₂ 排出係数
算定結果 [kg-CO ₂ /（セット・年）]	321	

株式会社LIXILグループ

項目	内容
3.その他 アピールポイント、連絡事項など	<ul style="list-style-type: none">● 製品のCO₂排出削減量の算定には、「適切なベースライン製品性能の設定」、「適切な使用年数や使用条件の設定」、「適切なCO₂排出係数の選定、今後の低炭素化の組み込み」、「同業他社の配慮」など多くの課題があります。これらの議論が今後進むことで、企業が積極的にCO₂削減貢献製品の開発・普及を進め、お客さまがその製品を選ぶという好循環を加速させたいと考えています。

株式会社LIXILグループ

項目	内容
4. 講評	<ul style="list-style-type: none">● 優れている点<ul style="list-style-type: none">• 削減貢献量をKPIに入れて事業を行っているのは良い取り組みである。• 使用段階の影響が大きい製品を扱う企業として、消費者とのコミュニケーションを取っている点は良い取り組みである。 ● 今後への期待<ul style="list-style-type: none">• 開発担当者も巻き込んで算定に関与するような運動ができるとよい。• 製品による下流CO2排出削減を促進する社内インセンティブについて、今後ぜひ導入の検討をお願いしたい。日本企業は海外企業と異なり金銭的インセンティブを導入している企業が少ないが、経営層を含めた社内インセンティブなどが実施されるようになると、社内での活動も活発になってくるのではないかと。